**赤字は執筆要項に記している原稿作成フォーマットの説明です。投稿時に削除してください。通し頁及び行番号は不要です。**

全般的事項：サポート活動の「全体」を工夫したという報告は、ショートレポートの分量に収まりません。スクリーニング、アセスメント、目標の設定、サポートの具体的方法など、活動の一部に焦点を絞り、対象者が抱える課題、工夫した点とその成果（工夫によって一歩課題解決に近づいた、新たな課題を見出した、まったく課題解決につながらなかったでも報告可能）がわかるように記載下さい。工夫された点の記載に際して、今後、スポーツ栄養士がショートレポートを参考にして、より良い栄養サポート活動ができるように記載下さい。

**ショートレポートタイトル：**

「◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯」

サポートにおいて工夫した点が伝わるようにタイトルをつけてください。

**著者名：**

◯◯◯◯1)、△△△△2)、□□□□3)、◇◇◇◇1)

**所属先：**

1) 〇〇〇〇〇

2) △△△△△△△△△△△△

3) □□□□□□

**連絡先：**（代表者の連絡先を記載してください）

氏名：◇◇◇◇

住所：〒123-4567　東京都◯◯◯◯◯◯◯◯123-4

電話：03-1234-5678

E-mail：abcdef1234@ghijk.co.jp

**概要（150文字以内）：**

本文の主要な内容（事業・サポート活動の目的、内容（工夫した点がわかるように）、工夫したことによる成果（ネガティブな成果でもよい）、（工夫した点に関する）今後の課題）を簡潔にまとめてください。

◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯

**本文（文献まで含めて合計2,800文字程度　※図表は小さめのもの1点あたり500文字として計算）：**

**Ⅰ. 事業・サポート活動の目的**

実践活動を実施している対象やチーム・競技などの特徴や課題に対して、解決すべき点及び必要性を、先行研究や他の事例から着想を得た文献を適宜引用して論じてください。その上で、今回の事業・サポートの目的と、その実現のために工夫した点を明確に示してください。

　引用文献は、最後に一括して記載してください。引用した順番に右肩付で番号をつけてください。連続して2つの文献を引用する場合は連続して2つの文献を引用する場合は半角カンマと半角スペースで文献番号を区切り（例：1, 2）、3つ以上の連続した文献を引用する場合は最初の文献番号と最後の文献番号素「～」でつないでください（例：2～4）。連続しない3つ以上の文献を引用する場合は半角カンマと半角スペースで文献番号を区切ってください（例：1, 3, 5）

（文献の引用例）

* 心身の成長のためにも十分なエネルギーや栄養素を必要とする1)が、・・・
* 上田ら（2019）4)は、媒体のわかりやすさと動機付けが行動変容に欠かせないと・・・

◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯

**Ⅱ. 事業・サポート活動の内容**

実践活動報告の目的に関連する活動内容について、詳しく記載してください。課題を解決するために工夫した点に焦点を絞って記載下さい。工夫したことによる成果を評価した方法（調査、測定、質問紙等）を記載してください。先行研究で行われている方法を用いた場合には、適宜文献を引用してください。統計解析を行った場合には、使用した統計解析の方法（統計解析ソフトを使用した場合にはソフト名）も記載してください。

必要に応じて小見出しを付けてください。

（小見出しの例）

１．対象者とサポート期間

２．調査項目

３．栄養サポートの内容

◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯

◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯

**Ⅲ. 事業・サポート活動の成果**

実践活動で取り入れた工夫によって得られた成果を簡潔に記載してください。必要に応じて小見出しを付けてください。工夫を取り入れる前との前後比較や、別の方法で行ったときとの比較が記載されていることが望ましいです。

成果を図表にまとめた場合には、図表を使って成果を説明し、該当する図表番号を本文に示してください。図表は、本文の最後（文献の後）に記載してください。

◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯

**Ⅳ. 今後の課題**

今回の事業・サポート活動において工夫を取り入れた結果、新たに見つかった課題や次回に行ったほうが良いと思われたことなどを記載してください。必要に応じて適宜文献を引用してください。

◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯

**謝辞**

著者には入らなかったものの、この事業・サポート活動に協力していただいた人・団体の名前などを記載してください。省略することも可能です。

◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯

**利益相反**

利益相反の有無について記載してください。申告すべき利益相反状態の基準は「日本スポーツ栄養学会 利益相反の取り扱いに関する規程」を確認してください。

（記載例）

* 本実践活動報告に関連し、申告すべき利益相反は存在しない。
* 栄養太郎はAAAA製薬と共同研究を行っている。
* 栄養太郎はBBBB食品から原稿料を受領している。

◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯

**文献**

文献は本実践活動報告に直接関係するものにとどめ、引用した順にリストを作成してください。

文献リストは、著者名（和文はフルネームで、欧文は姓のみをフルスペル、その他はイニシャルのみで3名まで記載し、それ以上の場合は「, 他」、「, et al.」を用いて略記）：雑誌名（欧文は略記しイタリック表記、和文雑誌名は略記しない）, 巻数, 初頁-終頁（発行年）

（記載例）

（和）金田芙美，菅野幸子，佐野文美，他：栄養学雑誌，62，347-353（2005）

（洋）Rosell, M.S., Hellenius, M.L.B., de Faire, U.H., et al.: *Am. J. Clin. Nutr.*, 78, 84-90（2003）

1) ◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯

2) ◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯

3) ◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯

**図表**

1ページあたりに1つずつ貼り付けてください。

表の場合は上に、図の場合は下に図表の番号と説明を記載してください。

表1.表のタイトル

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **項目名** | **期間1** | **期間2** | **期間3** |
| 項目1 | データ | データ | データ |
| データ | データ | データ |
| データ | データ | データ |
| 項目2 | データ | データ | データ |
| データ | データ | データ |
| 項目3 | データ | データ | データ |
| データ | データ | データ |
| データ | データ | データ |
| データ | データ | データ |
| 項目4 | データ | データ | データ |
| データ | データ | データ |

　項目名や略語の説明、数値の意味（平均値±標準偏差）、

統計解析結果の説明（\*p<0.05等）

|  |
| --- |
| C:\Users\martin\Downloads\testFigure.tif |

図1. 図のタイトル

項目名や略語の説明、数値の意味（平均値±標準偏差）、

統計解析結果の説明（\*p<0.05等）